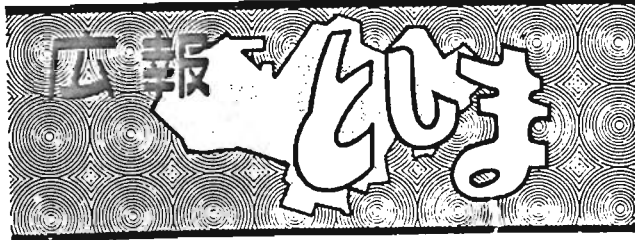


広聴電話



この電話は夜間・休日でも
利用できます。



防災特集号

発行 東京都豊島区役所 豊島区東池袋1-18-1 ☎(981) 1111千170 編集 企画部広報課

大地震にそなえて



「予知できない『大地震』」
近いうちに関東地方に、特に過密化した東京に、大地震が
こるといわれています。しかし、いつどこに、どのくらいの大
きさの地震がおきるかという、いわゆる地震予知については、
残念ながらいまだに解明されておられません。ただ大地震の発生
には、一定の周期があるという(六十九年周期説)があり、一
つのもやすとされています。この(六十九年周期説)によりま

すと、昭和六十六年頃大地震が発生することになり、その前後
十三年間が危険期とされています。このことから昭和五十三年
から昭和七十九年の間には、かなりの確率で大地震が発生する
こととなります。しかし、みなさん日本は地震国です。この六
十九年周期説にとらわれず、ふだんから地震災害に対する心
構えをしつかりと身につけて、準備をしておきましょう。
このたびの防災特集号には、地震による被害を未然に防ぎ、
そして軽減するには、何が必要かを中心にお知らせいたしま

こう進めている

区の防災対策

地域防災組織の結成

大地震が発生すると、相当の被害を生じます。特に、あわててとび出した火の始末をしないで逃げるのを、けがをし



たり、大火災になり、手のつけられない大惨事になります。そこで被害を少しでも軽減するために、ふだんからみなさんが地域の実情に合った協力体制をつくり、出火の防止、初期消火、避難誘導、救護、情報連絡体制の整備等の任務を分担し、訓練を重ねることによって災害時に即応できる組織の結成を、各町内会にお願いしております。区では、この組織づくりを促進するために、助成金を用意しています。

区民のみなさん、大地震による災害は、個人の力ではどうにもなりません。自分たちの町は自分たちの手で守るということを考えてください。

防災訓練

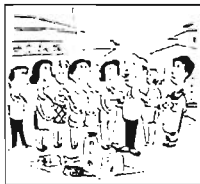
区では年一回、区内の防災関



係機関と区民が協力して、総合防災訓練を行っています。この訓練は、大震災時における各種の被害を想定して実施するもので、被害の軽減をはかるために、各機関の連絡体制の緊密化と応急対策の迅速的確な処理を目的に行っています。ことは、さる八月三十一日に駒込地区で実施(写真上)いたしましたところ、各機関の方や地域区民のみなさんが参加され、非常に有意義な訓練でした。

地域防災訓練には、進んで参加しよう

年間を通じて、各町内会が自主的に、地域防災訓練を実施されるようお願いしています。初期消火訓練(主に消火器の使い方三角パケットの使い、方、避難訓練(広域避難場所及び避難道路の確認誘導)映画会談会などの開催



このような行事を実施される場合は次のところに連絡してください

- ★区役所防災課(内線207)
 - ★所轄消防署防課
 - ★所轄警察署防課
- なお実施団体には、年一回に限り助成金を交付いたします。

備蓄倉庫の建設

震災時における被災者用の物資を備蓄する倉庫を、区内に五か所つくる計画をたてています。現在、要町一(五九)福祉事務所と併設で建設中、明年二月頃には完成の予定です。この倉庫には非常食としてのカンパン、毛布、医薬品、給水用ポリタンク、ろ水器などを備蓄することになっています。

消防水利(地下貯水槽)の設置

現在区内には、地下貯水槽が二百十か所ありますが、なお五十か所の設置が必要です。このため、年次計画のもとに消防署と協力して、毎年十か所程度設置する計画を進めています。

この貯水槽は、一応消防用ですが、大地震の際、飲料水に困るような最悪の場合には、ろ水器を用い、飲料水に活用することも考えています。

消火器の街頭設置

四十七年度と四十八年の二か年にわたり設置した消火器は現在、二千二百二十本あります。この消火器は、火災の初期消火用として取り付けたもので、みなさんの財産を守る大事なものです。

なお最近、消火器の盗難やいたずらが、非常に多くて困っています。

お気づきのことがありましたら、区役所防災課(内線207)まで、ご連絡くださるようお願いいたします。以上が区において進めている防災対策のあらましです。



「広域避難場所」とは：

各ご家庭における初期消火、隣り近所との消火活動や公設の消防隊により、地震に伴う火災をくいとおめることができないときは、非常用品をけい行し安全な場所に避難して生命身体だけは守らなければなりません。そこで東京都防災会議では、

「避難道路」とは：

現在、東京都防災会議では、都内五十六系統について「避難道路」が指定されています。豊島区関係では、図面に示す

な場所に避難して生命身体だけは守らなければなりません。そこで東京都防災会議では、

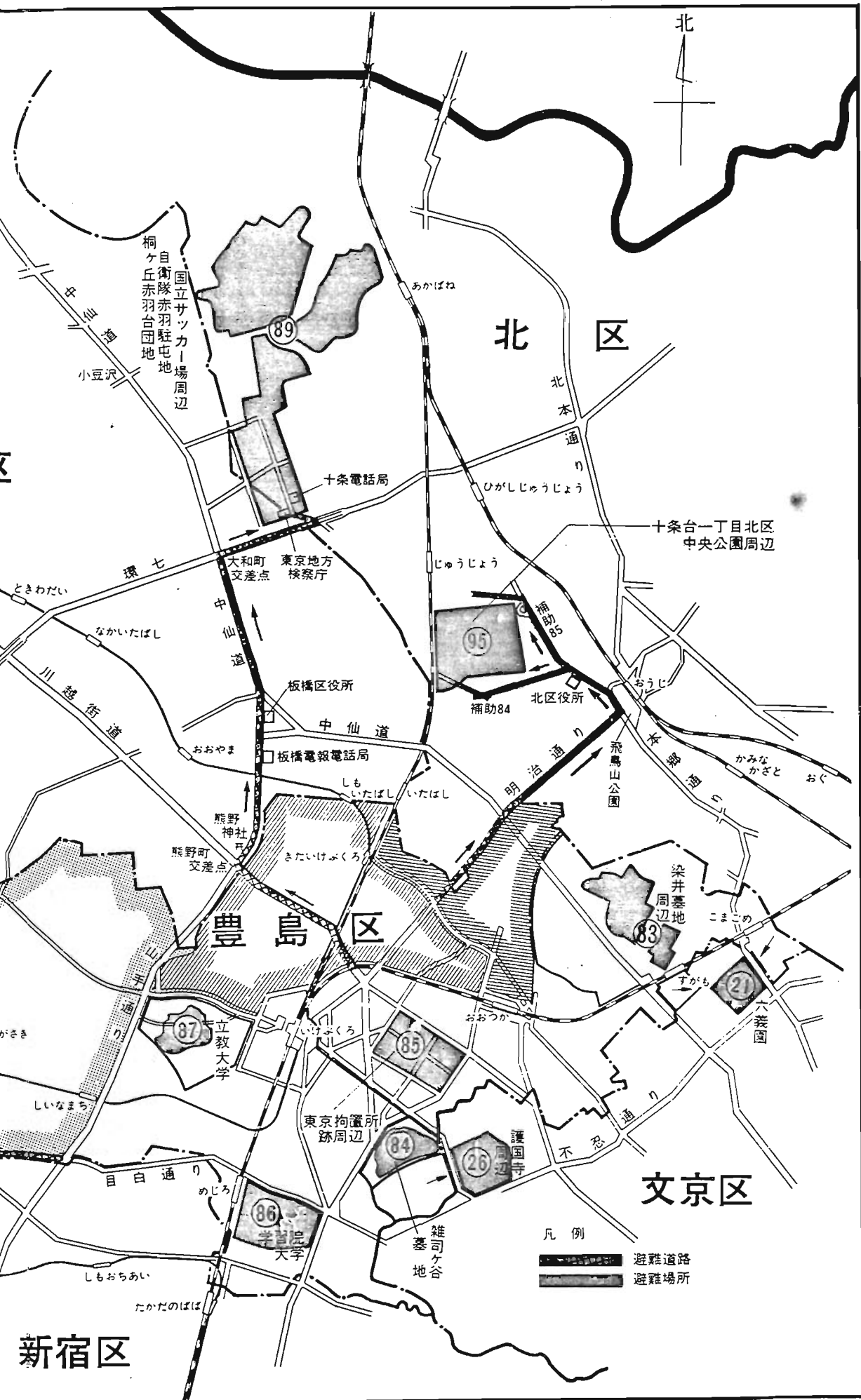
避難するということではあが長く、延焼火災により危険性が



が長く、延焼火災により危険性が

この道路は、震災時における避難の安全性を高めるために、

危険物、地下埋設物の安全化を

なご、指定された道路沿道の



凡例
 避難道路
 避難場所

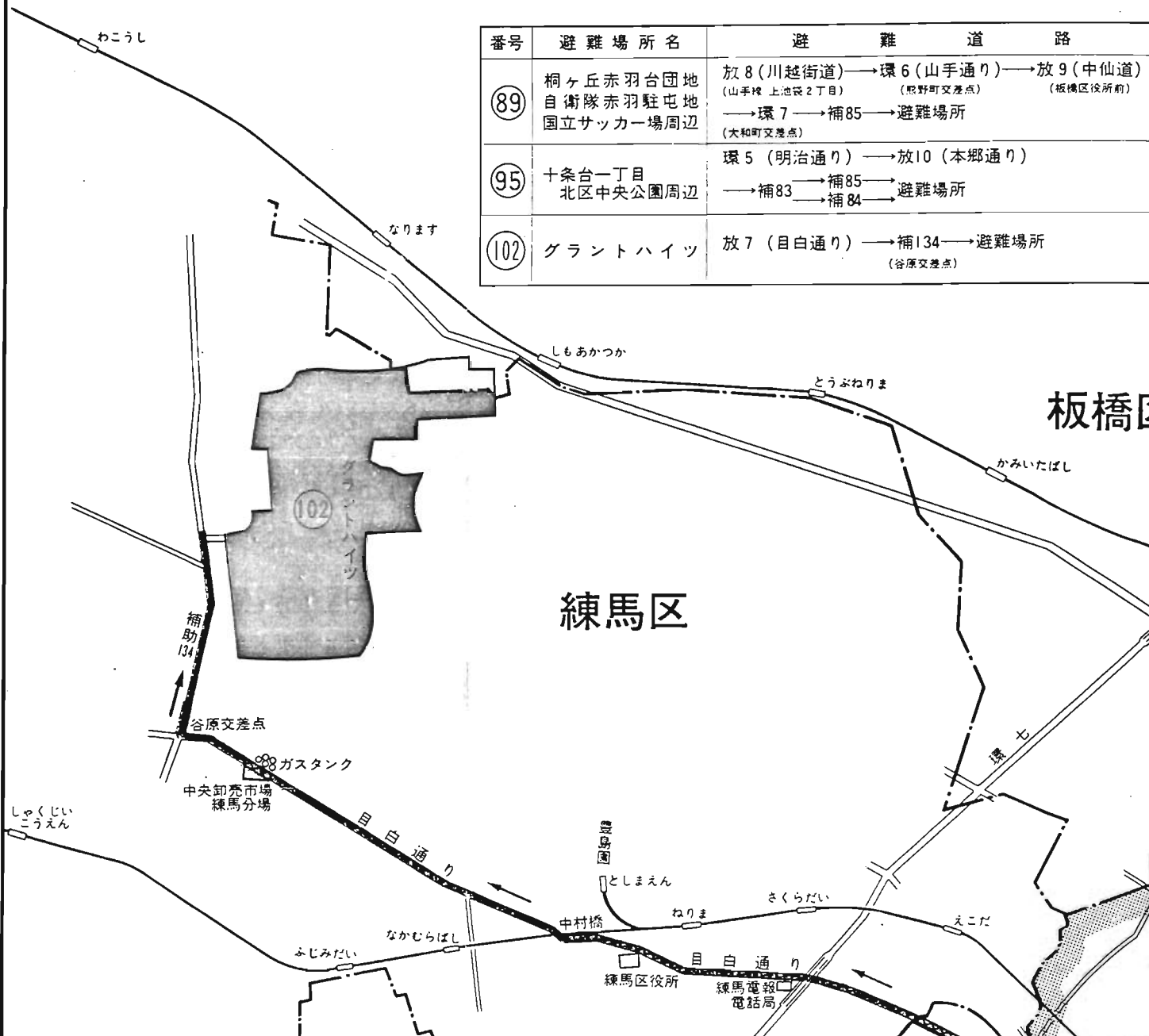
新宿区

文京区

豊島区

北区

あなたの『避難道路』・『避難場所』はここです…



番号	避難場所名	避難道路
89	桐ヶ丘赤羽台団地 自衛隊赤羽駐屯地 国立サッカー場周辺	放8(川越街道)→環6(山手通り)→放9(中仙道) (山手線 上池袋2丁目) (昭野町交差点) (板橋区役所前) →環7→補85→避難場所 (大和町交差点)
95	十条台一丁目 北区中央公園周辺	環5(明治通り)→放10(本郷通り) →補83→補85→避難場所 →補84
102	グラントハイツ	放7(目白通り)→補134→避難場所 (谷原交差点)

番号	避難場所名	全面積	収容人員	割当町丁名	他区避難者
21	六 義 園	10.0	3.2	駒込1.2 巣鴨1(1番-16番)	文京 2.5
26	護 国 寺 周 辺	18.0	3.7	雑司が谷1	文京 3.2
29	染 井 墓 地 周 辺	13.9	3.4	駒込3.4.5.6.7 巣鴨2.3.4.5	
34	雑 司 ヶ 谷 墓 地	11.1	0.5	南池袋4	
35	東 京 拘 置 所 跡 周 辺	19.4	5.7	南大塚1.2.3 東池袋1.2.3.4.5 巣鴨1(17番-51番) 北大塚1	
36	学 習 院 大 学	23.5	8.8	南池袋1.2.3 西池袋1.2.4 目白1.2.3.4.5 高田1.2.3 雑司が谷2.3	文京 1.0 新宿 1.6
37	立 教 大 学	10.8	1.3	西池袋3.5	
38	桐ヶ丘赤羽台団地、自衛隊赤羽駐屯地、国立サッカー場周辺	110.0	38.4	北大塚3 上池袋1.2.3 池袋本町1 2.3.4 池袋1.2.3.4	板橋 13.3 北 10.4
39	十条台一丁目北区中央公園周辺	36.0	9.9	西巣鴨1.2.3.4 北大塚2 上池袋4	北 7.5
102	グラントハイツ	177.3	78.7	高松1.2.3 長崎1.2.3.4.5.6 菱町1.2.3 南長崎1.2.3.4.5.6 千川1.2 千早町1.2.3.4	練馬 33.2 板橋 0.6 杉並 10.7 中野 7.7

※ 丸の中の番号は、東京都で指定した避難場所の番号です。

万一地震が起きたら そのときあなたは

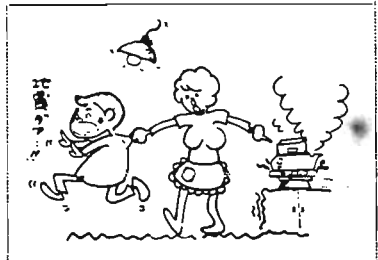


ガラス、ときたら…まず「火の始末」

大地震がおきたとき、いちばん恐ろしいのは、地震による直
接の被害よりも、その直後の火災による被害の方が、きわめて
大きいことです。関東大震災での東京の死者は、約六万人にも
のぼっていますが、その大部分は、火災によるものでした。

心得ておきたい「十か条」

- ① すぐやく火の始末
- ② 石油ストーブの火を消す
- ③ ガスストーブやガスレンジの元栓をしめる
- ④ 電気器具はスイッチを切りコードを抜く
- ⑤ 発火性、引火性の危険物、化学薬品は安全な場所へ
- ⑥ あわてて戸外にとび出すな、まず丈夫な家具などに身を寄せよ
- ⑦ 急に戸外にとび出すと屋根瓦、窓ガラス、看板などが落ちてきて、きわめて危険
- ⑧ 木造の家屋が一瞬のうちに倒れてしまうことはまずない
- ⑨ 二階にいるときは、あわてて降りないで、そのまま様子を見る
- ⑩ 一分すぎたら、まず安心
- ⑪ はげしい振動は、おおむね一分以内で終る
- ⑫ 火が出たらまず消火
- ⑬ 石油ストーブ・コンロの火災は消火器を使うか、バケツの水をかぶせるように、勢よくかけて消火する
- ⑭ 天ぷらなど揚げているとき油に火がはいったときは、まずガスの元栓をしめ、消火器や大きめなぬれタオル、ぬれぞうきんをかけて消火する
- ⑮ 余震は一般に本震より小さいので余震は恐れない
- ⑯ 秩序を守り、衛生に注意
- ⑰ 水道が止まり、井戸がこわれ、飲料水として使用できない場合がある。水道以外の水を飲む場合は関係機関の衛生担当者の指示に従う
- ⑱ 伝染病の発生にそなえて衛生には特に注意する
- ⑲ マグネチュードとは地震の規模(エネルギー)を一定の基準であらわしたものです。震源から百キロメートルのところで、地震計に記録された振幅をミクロンの単位でもとめその値が十の何乗になるかを計算し、その数値をマグネチュードとしたものです。
- ⑳ 震度とはある場所で感じる地震のゆれの度合いを震度といいますが、その強さを下表のように階級別にしたものを震度階といいますが、その値が十の何乗になるかを計算し、その数値をマグネチュードとしました。



家庭における「ふだんのそなえ」

現在の東京は、自然災害ばかりでなく火災、交通災害のことが過密化のたたらす都市災害が日常的に発生し、都市における生活がびびやかされています。しかし、住民はある意味では危険感が慢性化した「その時はその時」といった、安易な考え方も一部ではみられます。とくに「大地震」は、今のところいつか明確にいいないだけに、なおさら防災について無関心さもあるようです。大地震が起きたら、その被害は、はかり知れないものになることは明らかです。「誰れかになにかしてくれ」という他

マグネチュードと震度

マグネチュードとは地震の規模(エネルギー)を一定の基準であらわしたものです。震源から百キロメートルのところで、地震計に記録された振幅をミクロンの単位でもとめその値が十の何乗になるかを計算し、その数値をマグネチュードとしたものです。

震度とはある場所で感じる地震のゆれの度合いを震度といいますが、その強さを下表のように階級別にしたものを震度階といいますが、その値が十の何乗になるかを計算し、その数値をマグネチュードとしました。

<震度階>

震度	名称	解	説
0	無感	人体に感じないで、地震計に記録される程度	
1	微震	静止している人や、特に地震に注意深い人だけに感じる程度の地震	
2	軽震	大ぜいの人に感ずる程度のもので、戸障子がわずかに動くのがわかるぐらいの地震	
3	弱震	家屋がゆれ、戸障子がガタガタと鳴動し、電灯のようなつり下げ物は相当ゆれ、器内の水面の動くのがわかる程度の地震	
4	中震	家屋の動揺が激しく、すわりの悪い花びんなどは倒れ、器の水はあふれ出る。また歩いている人にも感じられ、多くの人は戸障子が出す程度の地震	
5	強震	壁に割目がいり、墓石、石どうろうが倒れたり、煙突、石垣などが破損する程度の地震	
6	烈震	家屋の倒壊は30%以下で、山くずれが起き、地割れを生じ、多くの人は立っていることができない程度の地震	
7	激震	家屋の倒壊が30%以上におよび、山くずれ、地割れ、断層などを生じる	

非常持出品を準備しておく

いざというときにそなえて貴重品や当座の必需品をまとめておき、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

避難場所とはどこか、その避難場所、どの道路を通って行くか、学校や職場などに行っているときとの連絡方法をどうするかをきめておく

避難する時の持ち物を入れる非常持出品の内容を確認する

このほか、家庭内の防災について、家族ぐるみで相談し、いざという時の準備をしましょう

みなさん、ひとりひとりが防災に因心をもち、備えることがみんなが助かる唯一の道です。

